

スポーツ実績に関する申告書

記入例1

受験職種・教科等 高等学校教諭（保健体育）

受験資格となる実績

高等学校卒業後、全国大会（国民体育大会、全日本選手権大会、全日本実業団選手権大会、全日本学生選手権大会等）で3位以上の成績を収めた者。（ただし、団体競技については正選手として出場した者に限る。）

フリガナ	ヒロシマ モミジ			(平成28年4月1日現在)
氏名	広島 もみじ	広島	性別 男・女	年齢 34 歳

①	大会の名称	(必ず正式名称を記載) 第〇回 日本選手権水泳競技大会		開催地	〇〇県
	主催団体	公益財団法人 日本水泳連盟			
	実績を収めた年月日	昭和・平成〇年〇月〇日			
	成績	競技種目	200mバタフライ		
		個人・団体	個人・団体 (いずれかに〇印)		
「団体」の場合のみ記入	チーム内での役割	レギュラー・控え (いずれかに〇印)			
	ポジション				
順位	1位・2位・3位 (いずれかに〇印)				

②	大会の名称	(必ず正式名称を記載) 第〇回 国民体育大会		開催地	〇〇県
	主催団体	公益財団法人 日本体育協会			
	実績を収めた年月日	昭和・平成〇年〇月〇日			
	成績	競技種目	メドレーリレー		
		個人・団体	個人・団体 (いずれかに〇印)		
「団体」の場合のみ記入	チーム内での役割	レギュラー・控え (いずれかに〇印)			
	ポジション	第3泳者 バタフライ			
順位	1位・2位・3位 (いずれかに〇印)				

- 枠内の必須事項をすべて記入し、押印すること。（※欄は記入不要。）
- この用紙はA4（縦）とし、記入は自筆（黒ボールペンを使用）とすること。
- ①、②については、開催年月日順ではなく、実績の上位から申告したい順に記載すること。（受験資格となる実績が複数ある場合）
- この「スポーツ実績に関する申告書」を上にして、**実績を証明する書類と合わせてホチキス止めにすること。**
- 「4」の実績を証明する書類に記載された氏名が、現在の氏名と異なる場合は、戸籍抄本又は戸籍個人事項証明書（従前戸籍が確認できるもの）を併せて提出すること。提出された書類は返却しない。
(例) **実績を証明する書類**
新聞記事（新聞社名と日付が確認できるもの）の写し、表彰状の写し、主催団体が発行する成績証明書の写し、大会要項又は大会結果収録の写し（表紙及び主催団体が確認できる頁を含む。）
- 正選手とは登録メンバー（レギュラー又は控え）とし、大会要項等に氏名が掲載されている場合など、登録メンバーであることが確認できれば受験を認める。

スポーツ実績に関する申告書

記入例2

受験職種・教科等 高等学校教諭（保健体育）

受験資格となる実績

高等学校卒業後、全国大会（国民体育大会、全日本選手権大会、全日本実業団選手権大会、全日本学生選手権大会等）で3位以上の成績を収めた者。（ただし、団体競技については正選手として出場した者に限る。）

フリガナ	ヒロシマ マナブ			(平成28年4月1日現在)
氏名	広島 学	性別	男・女	年齢 27 歳

①	大会の名称	(必ず正式名称を記載) 第〇回 国民体育大会		開催地	〇〇県	
	主催団体	公益財団法人 日本体育協会				
	実績を収めた年月日	昭和・平成〇年〇月〇日				
	成績	競技種目	バスケットボール			
		個人・団体	個人・団体 (いずれかに〇印)			
「団体」の場合のみ記入		チーム内での役割	レギュラー・控え (いずれかに〇印)			
	ポジション	ガード				
順位	1位・2位・3位 (いずれかに〇印)					
②	大会の名称	(必ず正式名称を記載) 第〇回天皇杯 全日本総合バスケットボール選手権大会		開催地	〇〇県	
	主催団体	公益財団法人 日本バスケットボール協会				
	実績を収めた年月日	昭和・平成〇年〇月〇日				
	成績	競技種目	バスケットボール			
		個人・団体	個人・団体 (いずれかに〇印)			
「団体」の場合のみ記入		チーム内での役割	レギュラー・控え (いずれかに〇印)			
	ポジション	ガード				
順位	1位・2位・3位 (いずれかに〇印)					

- 枠内の必須事項をすべて記入し、押印すること。（※欄は記入不要。）
- この用紙はA4（縦）とし、記入は自筆（黒ボールペンを使用）とすること。
- ①、②については、開催年月日順ではなく、実績の上位から申告したい順に記載すること。（受験資格となる実績が複数ある場合）
- この「スポーツ実績に関する申告書」を上にして、**実績を証明する書類と合わせてホチキス止めにすること。**
- 「4」の実績を証明する書類に記載された氏名が、現在の氏名と異なる場合は、戸籍抄本又は戸籍個人事項証明書（従前戸籍が確認できるもの）を併せて提出すること。提出された書類は返却しない。
(例) **実績を証明する書類**
新聞記事（新聞社名と日付が確認できるもの）の写し、表彰状の写し、主催団体が発行する成績証明書の写し、大会要項又は大会結果収録の写し（表紙及び主催団体が確認できる頁を含む。）
- 正選手とは登録メンバー（レギュラー又は控え）とし、大会要項等に氏名が掲載されている場合など、登録メンバーであることが確認できれば受験を認める。